

基本CG 12枚
本編CG 125枚

魔装に魅入られた少女は
深い闇へと堕ちてゆくー

魔装のイザナイ

~Dark Suit Inbent~ Cace.01

まそう
—魔装—

人々を闇へと誘い、その心を漆黒へと染め上げる衣服
一度着てしまった者はその意思に永遠に囚われてしまう——

ソレは邪な心の隙間に突然現れる

これは魔装に魅了され、深淵へと堕ちていく人々の物語——







「わたしは美穂！
どっどこにもいる普通の学生！」







「それは、ブイチューバー！」

3MB

「まだ始めたて、わからない事がたくさんあるけど」

「リスナーのみんなと楽しく盛り上げられる時間は本当に楽しいっ！」

Comment

- TATAN
- /ワイル
- 瞬
- Ham
- タワ
- はーと
- 敗北者101
- ghost

こんばんわ！
草草草
かわんわ！

おつ
こんばんわ～
今日もかわんわ！！
がんばれ
こんさく～

かわ
草

AWALL

「……だけど本当は
最近チャンネルが伸び悩んでいてちょっと病み中……」

「同時期にデビューしていった皆はすごい勢いで
3D化とか新コスチュームでパワーアップしているの……」

「私はまだまだ……」





「でもそんなお金…無いし…」

「おっけい!」かなかな…」

3V3

● 喉

● Ha

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々

● 々











「ふふっ」
「お買い上げありがとうございます♡」



「でもホントに」の値段で良いなら...」のスイーツ、トさるー」
（なんだかよくわからないけど、ラッキー）
（これで私も大人気ブイチューバーだっ！）





「早速着てみたけど…」

「おお…なんか…ちょっと…キツい…かも」

（……うっか……）



「このデザインがスーッと見た目が…なんか独特…」

「おっっっっ…恥ずかしい…かも…」







「はーっ……誰さ」

フフッ…

フフッ…

フフッ…





「なっ……なに……!?」

(急に……スーツがっ……)

フッフッ♡

フッフッ♡



「なんなの」のスーツ...!?!」

はあ

はあ

「...」

「...」



「……なんだか、怖い……怖いよ……」



「はあッ♡はあんっ♡」

「いいわぁ♡いいわよぉ♡」

「てっ……店長さん……店長さんッ……
ダメです……ダメですよッ……」

「はぁんっ♡」

「いいじゃない♡おまんこ気持ちいいでしょう♡」

「わたしも最高に感じるわあ♡」

「あはあんっ♡」

「あたしのカラダもっと味わいなさい♡」

「店長さん……店長さん……」

「あはあんっ♡なにっ♡」



「素敵よ♡素敵じゃないこの勃起チンポお♡」

「ああんっ♡あたしのカラダあ♡やっぱり変わってしまったのねえ♡」

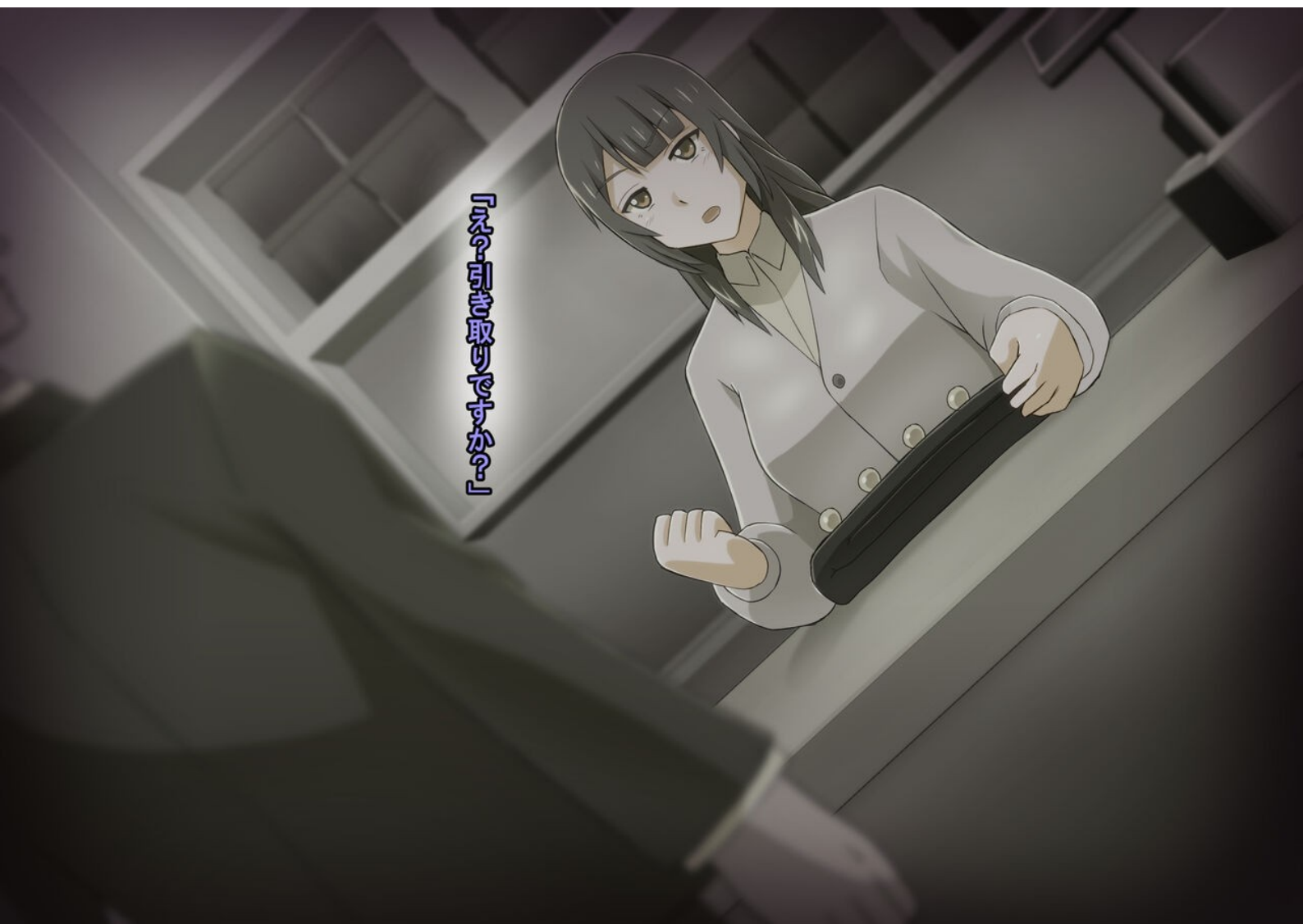


(あのスーツ♡)

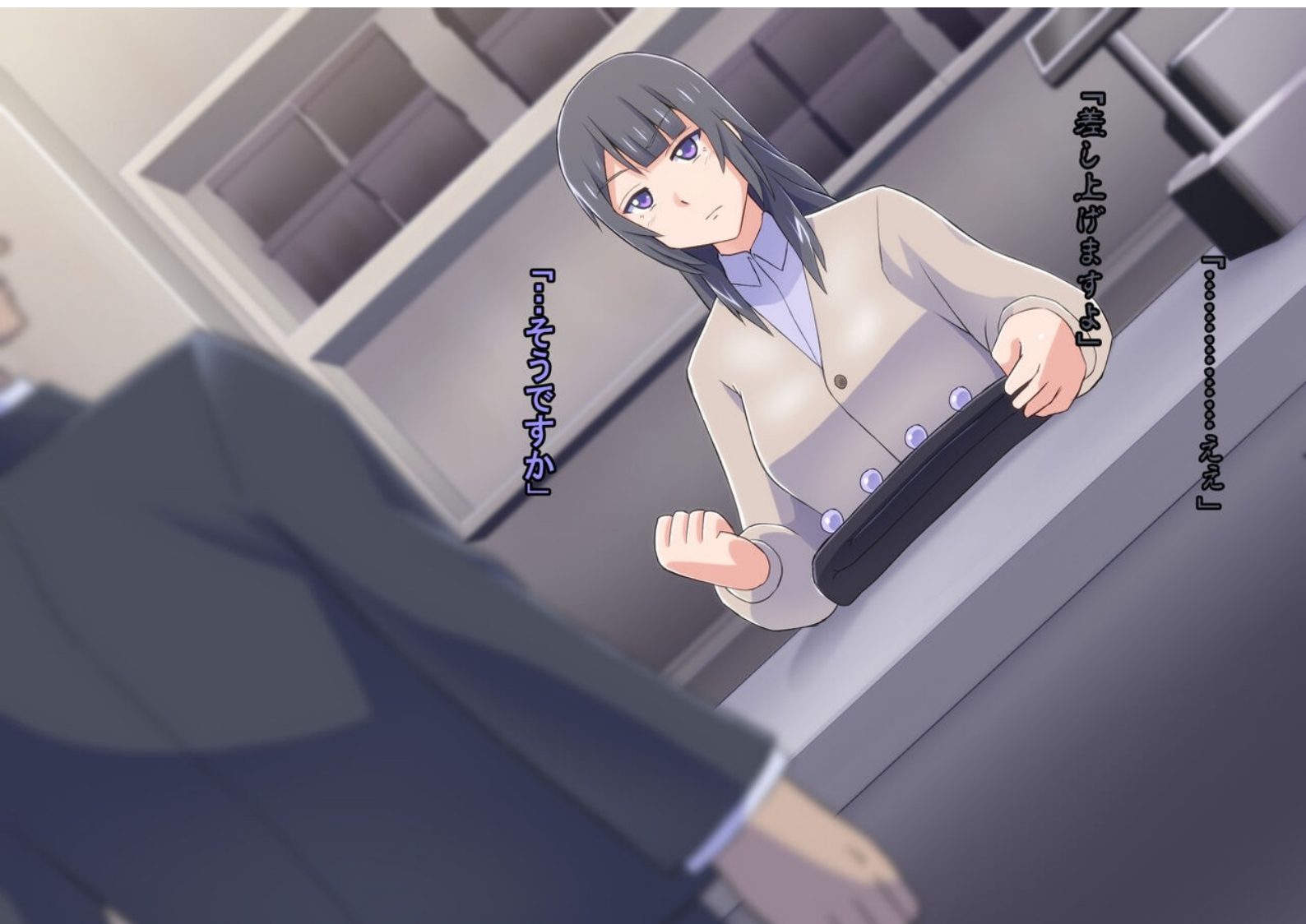
(ぞうよあのスーツ…♡
全てはあのスーツに出会ってから♡)

ブル

ブル



「えっ引き取りですか？」



「oooooooooooooooooooo」

「きょうはあはれ」

「……ひんがな」

「うーん、引き取りだけって
のはやってないんだけど」



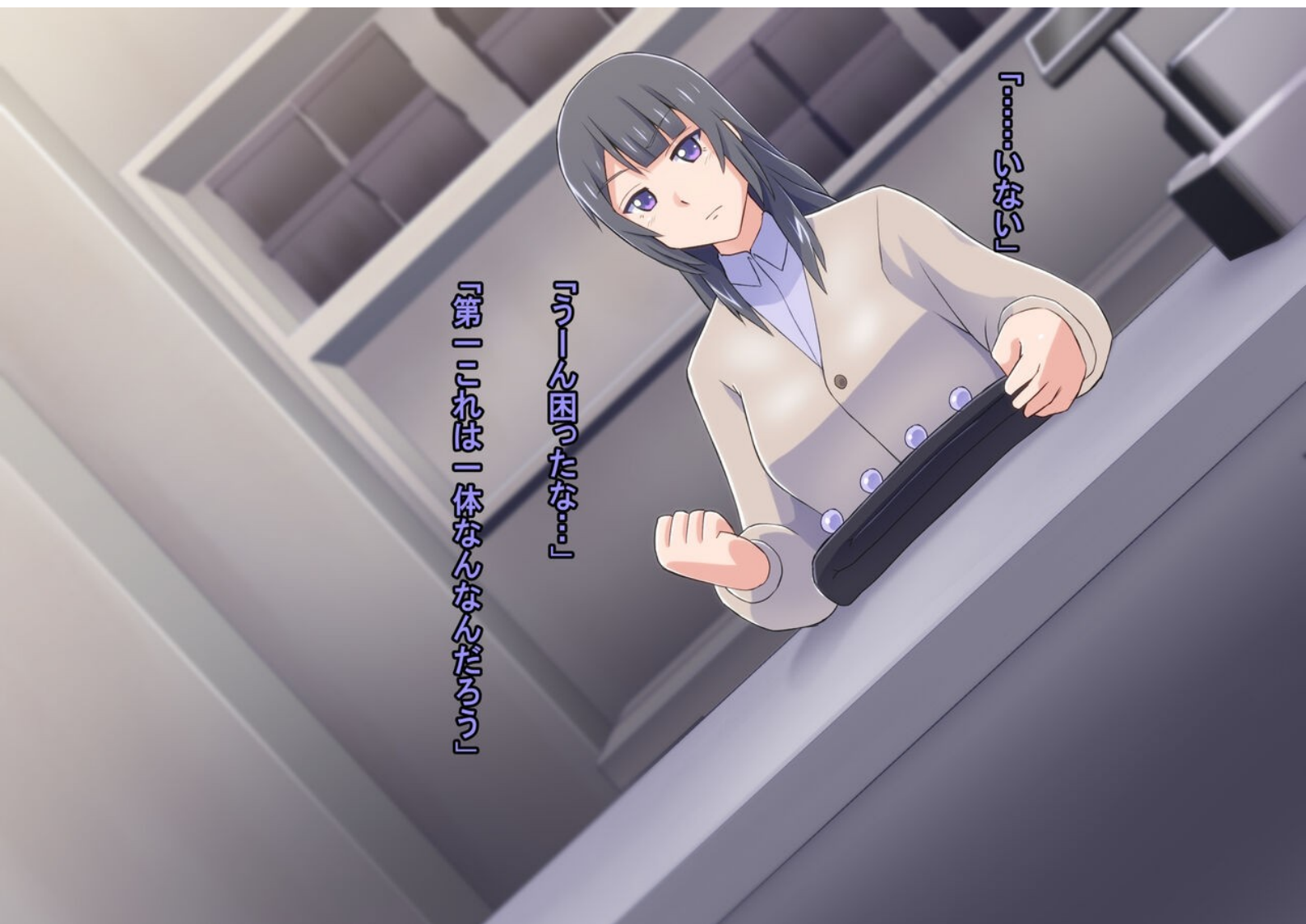


「うん...だ...」



「お待たせです」

「お客様ですか？」



「……んんん」

「うーん困ったな…」

「第二これは一体なんなんだろう」





「これは……」

「……さ……」



「んん♡んん♡のな♡」

「あのスーツに出会ってからわたし♡」

「こんなドスケベな女に変わってしまったの♡」





「はぁい♡はぁい♡」

♡(はぁい♡)

ズンッ

ズンッ

ズンッ

ズンッ



「はぁんっ♡はぁんっ♡」

（だげどおっ♡）

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



「とーっても最高の気分よおお♥」



「ああ……♡ドスケベセックスさいこお……はあ……♡」

「はあ……はあ……♡」

ドスケベ



「あー...すいません...
旦那様をさっさと終わらせたいな」

「だぁ♡だぁ♡」





「この私と回じよう♡」

「彼女もさっさと変わる…♡」

「ふっふっふ…」

「あらどうしたのから♡」

「あの…このスーツなんですけど…何か変で…」



「変？商品に何が不備でもあったのかしら？」

「いえ…不備っていう訳ではないんですけど…」

「このスーツを着た時……」

「何か頭の中に…変な声が聞こえてきて…」



「ぞっと思ったら急に寒気が……」



「そうねえ」

「そのスーツを着てからそんなおかしな事が
起こったんだものね、しょうがないわよね」



「あら…おかしいわね」

「それは確かに変だわ」

「それで…せっかく譲ってもらったのに申し訳ないんですけど…」
「わ、返品したくて…」







「んっ…」

「よかった…あのスーツ、ちゃんと返せて」



「でも…本当になんだったんだろう…あれ…」

「……………」

（それ…）

（あの店長さんも…なんだか…様子が…）



「そりゃあは…店長さんがくれた」

迷惑をかけたお詫びに受け取ってちょうだい…

これからの貴方にぴったりの贈り物よ

「思わず受け取っちゃったけど、なんなんだろう…」



「……」

「……」 「……」 「……」

「……」

「……」

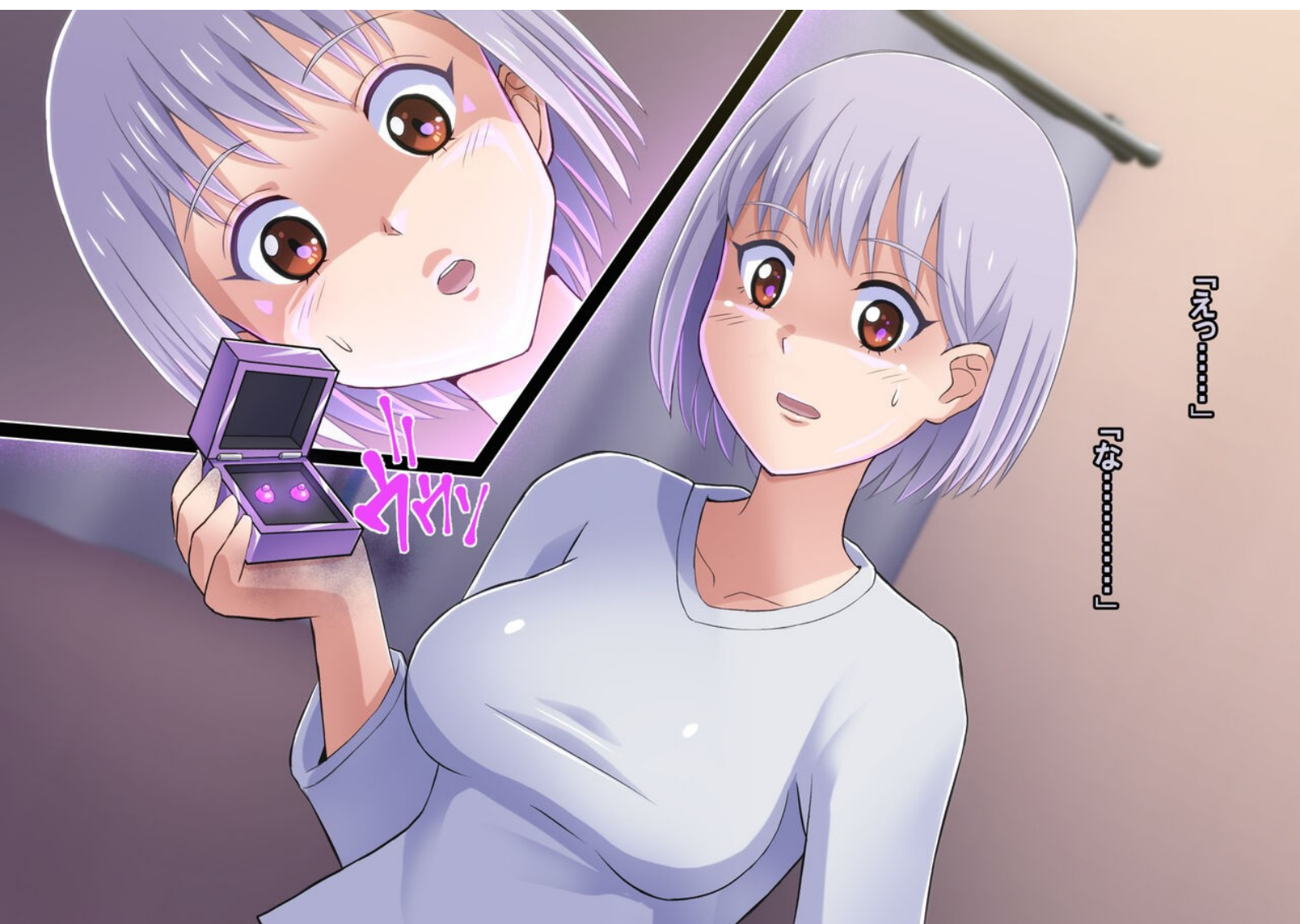
「……」

「……」



（でも、私にはピアスとか、店長さんみたいな
派手な服は似合わないかな……）







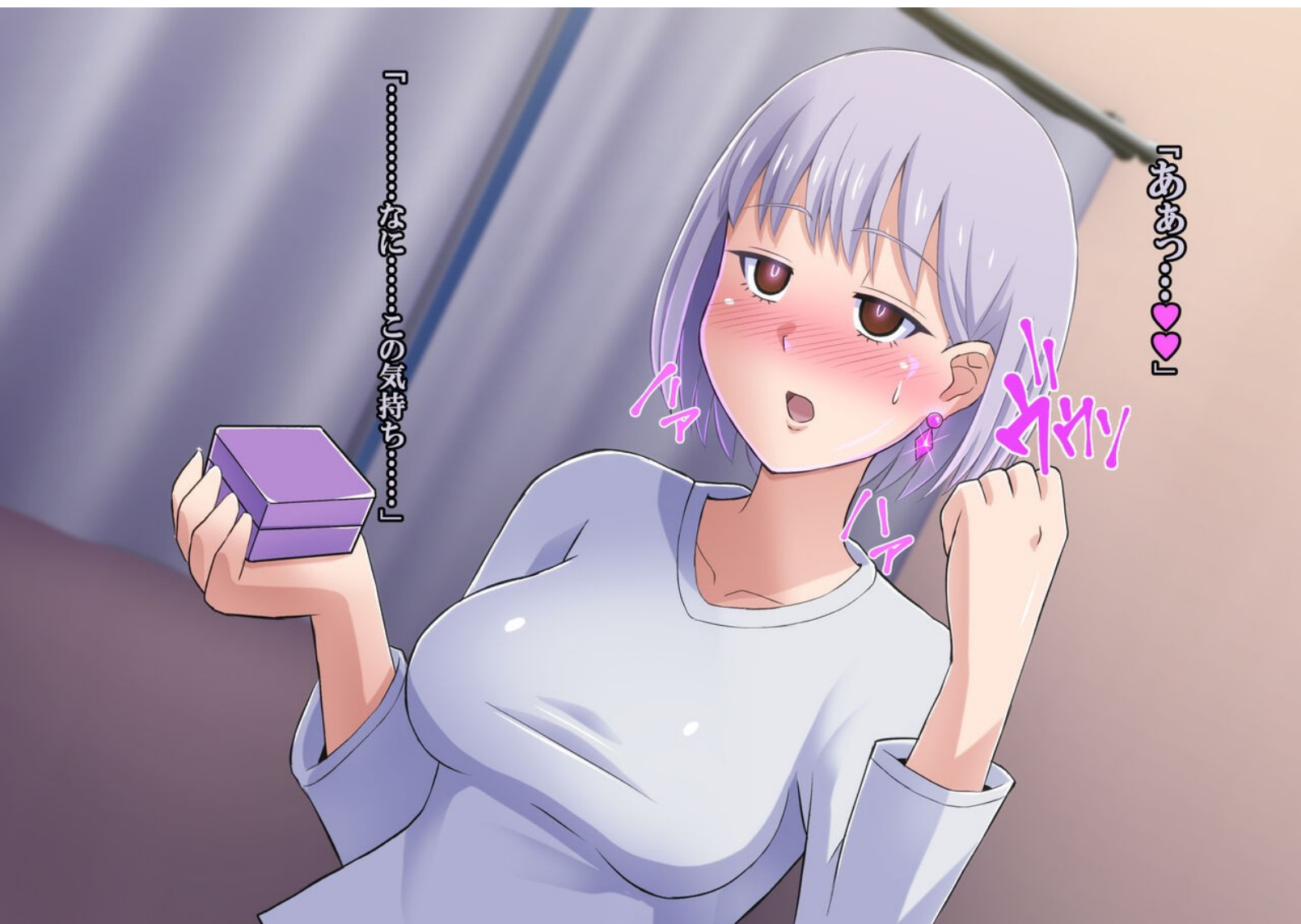
「あら……あらだね……」

「せいかくももらった物だし……」
「回へらね
着けてみなげと……失礼だよね……」

「それにこのピアス……よく……見たら……」







「これ……すごく……綺麗……♡」

「あの人の言った通り……
すごく……似合ってる♡」





「いふなまたっ...♡初めい...♡」







「フッフッ正直になりなさい…」

「あのスーツをまた
着たくなったのよねえ♡」

「♡…♡」

「そっちはよねえっ」

「はっはっはっ………」

「はっ……はっ……」

「やっ……やっ……やっ……」

「フンッ」

「良げなっ……」

「私のあげたピアスも
よく似合っているじゃない」



「乳首もこんなに勃たせて…」

「アナタの中の淫らな気持ち
がどんどん強まってきたわ…」

「はぁ…はぁ…♡」

「あのスーツをまた着たくて…
こんな素敵な服で店長さん
に会えに乗っちゃいましたぁ♡」

「フッフ」

「上出来♡」



「でもまだなのよ...」

「はあ...はあ...」

「あのスーツを着るには
まだ足りないわねえ」

ビュッ

「う...う...」

「やの...やの...」





「あなをいじめる♡」

「おもしろい♡」

「はぁ……いじめる……」





「フフフ」
「やう♡ぽんぽん♡」

「アナタにはもっと淫乱でメグス
な女になってもらわない♡」



「ああ……♡」

「店長さん♡これすい♡♡」

「ああんっ♡素敵よお♡
カオ
いい表情するわアツ♡」

「やっぱりアタシ
の思った通りよ
く似合っている
わア」

「ああ…はい…ありがとうございます…♡」

「さあもつともつと淫乱に…
肉体も精神もドスケベに
生まれ変わってちょうだい…」

「あのスーツに相応
しいメスになるのよ」

「そうすればきっと…
アナタの元へと現れ
るはず♡」

「はぁ……..
はぁ……..はぁ♡」



「わぁっ……あのスーツど
めめめ……スズ……♡」





「……………」

「リスナーのみなさん、お久しぶりい♡」

「今日はアタシの新しい衣装っ♡」

「お披露目しちゃいます♡」

衣装♡♡♡



じゃあんっ♡

衣装



「どうかなみんな♡」

「これがアタシの新衣装だよ♡」

衣装♡♡♡

「……………♡♡♡♡♡」

「アタシが変？ そんな事ないよ♡♡」

「アタシはいつも通り♡♡」

「……………」

「なあにみんな、気に入らないの？」

「アタシはすごく気に入ってるんだけど…♡♡」



「これが変態みたいな格好…?」



衣装♥♥

「あめ…♥」

「ぞう…♥ぞうだね…♥」



「こんな…変態みたいな格好して…♥」

「めい…♥めい…♥めい…♥」



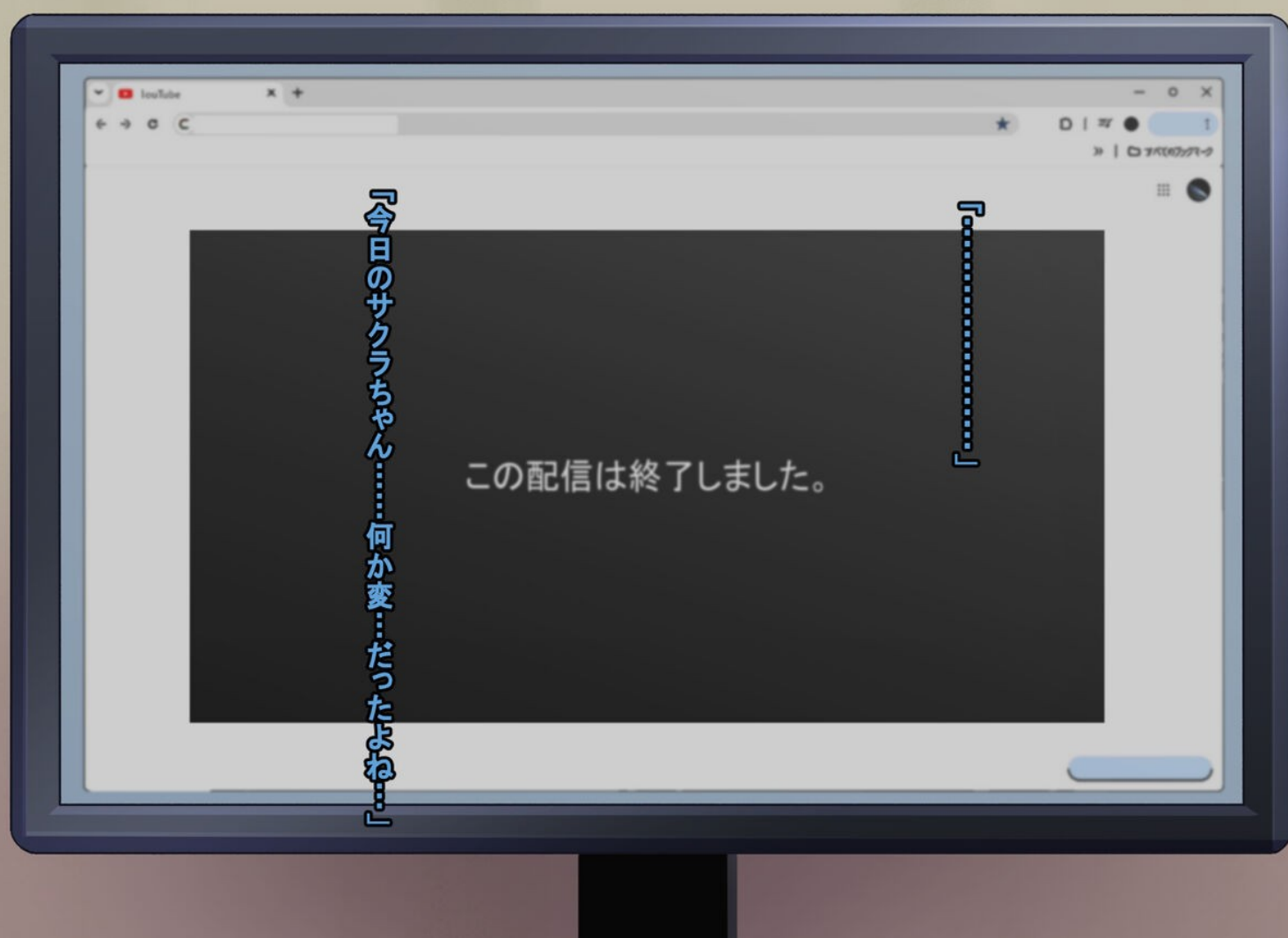
「はぁい……はぁい……♡」

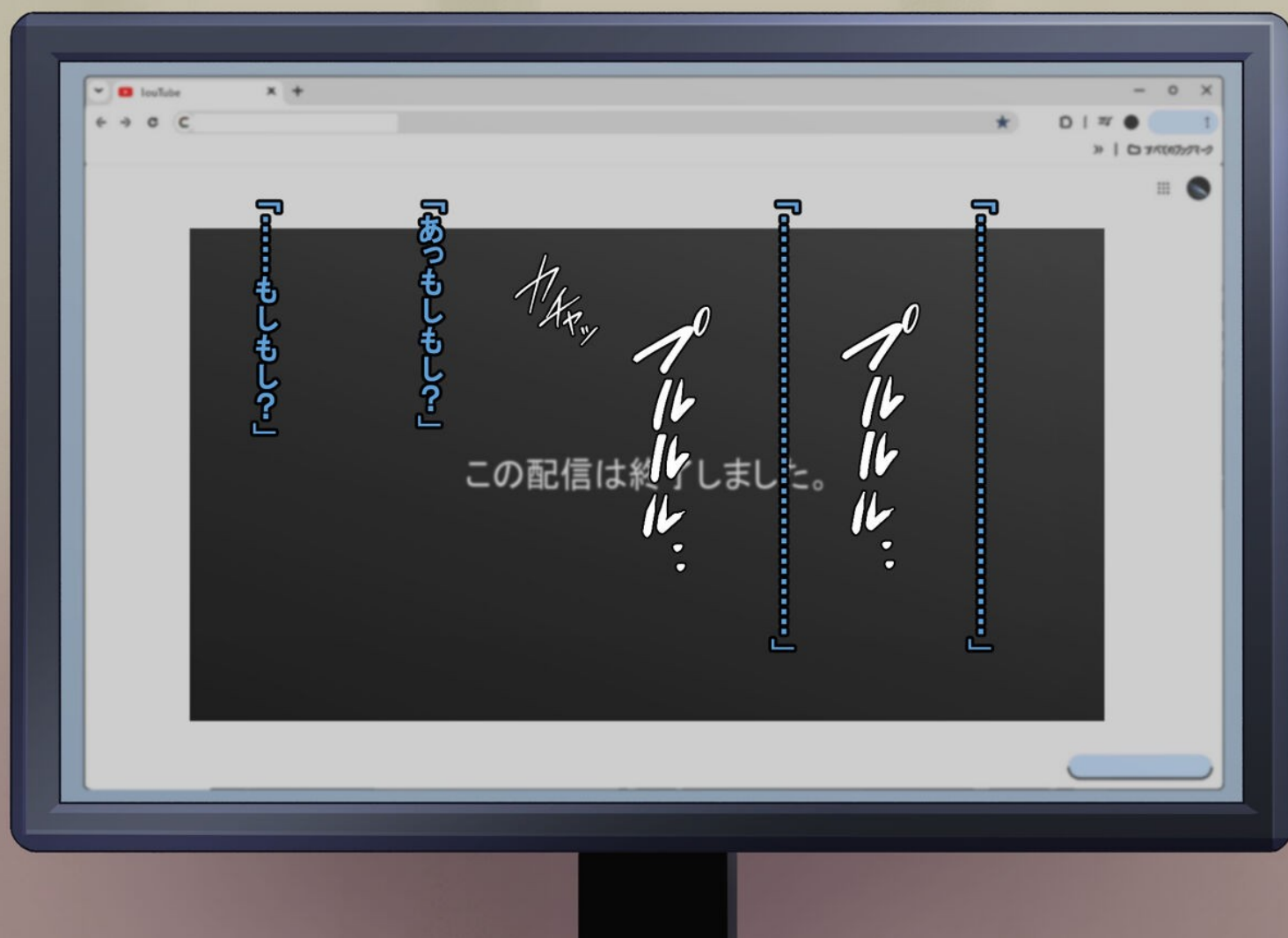
「アタシ……もっと……変態になるからあつ♡」

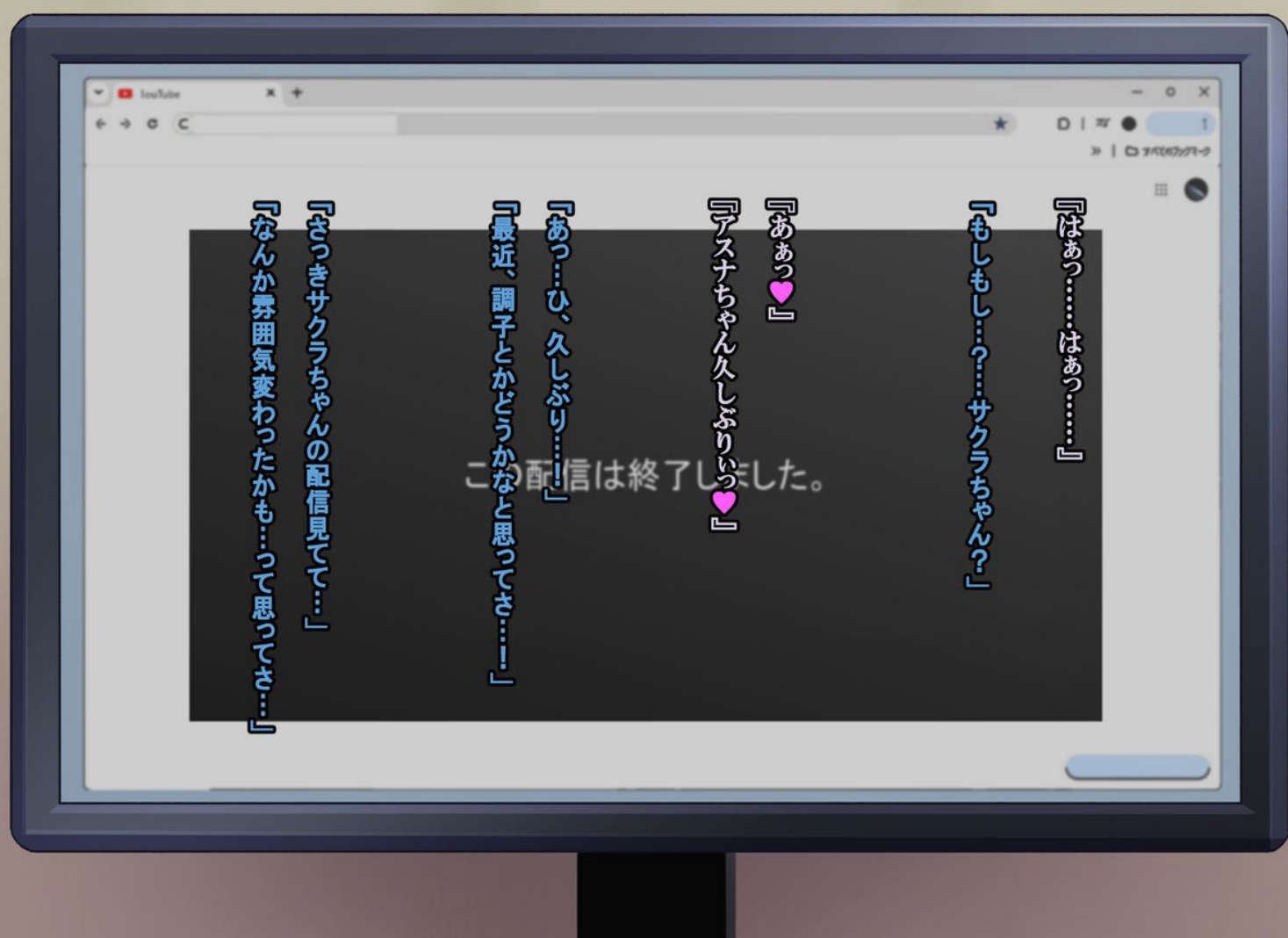
衣装♡♡

この配信は終了しました。Ryo-100

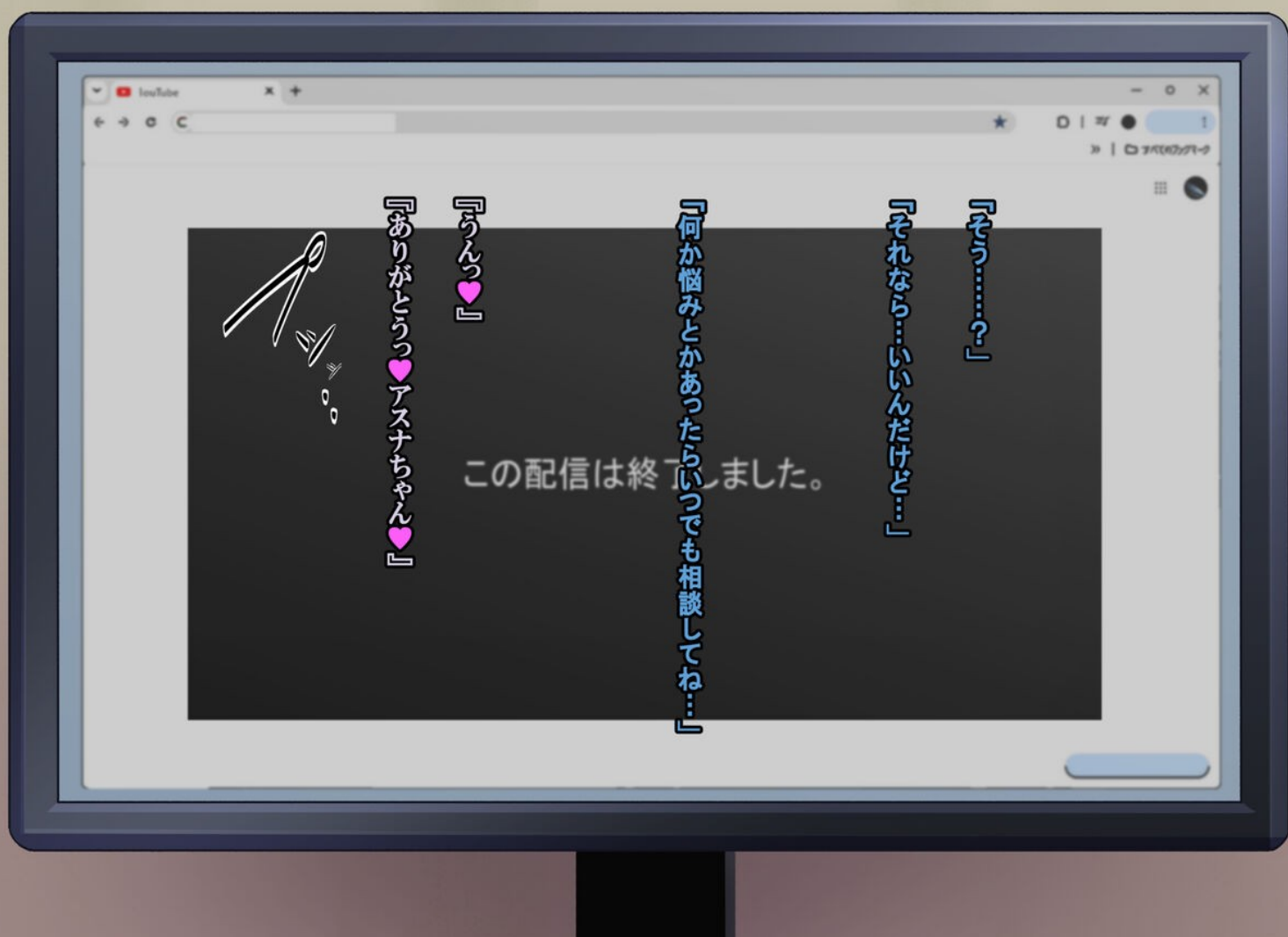
衣装♡♡















「あらあら♡せんせ♡♡」

とろろ♡

「うっ……！サクラちゃんっ……」

「でもっ……あれはっ……」

「さすがにやりすぎじゃっ……」



「ギャハッ♡」

「ちーの♡」

「むしろ全然たりなげん♡」

「せんせだてアタシの淫乱

スグスマン」で腰振ってもらえて…

と「つても気持ちイイんでしょ」

「ああッ……サクラちゃんッ……

きみはッ……いったいつ……うアッ……」



「あーん♡あーん♡あーん♡」

「あーん♡……♡」

「あーん……♡」



「あのスーツに相應してゐるぞう」♥



(きゅ...)

はーはー



（あのスーツをまだ見たに續つてはアツク…）

「おっ♡」

（その姿を想像しただけで…）

イル イル イル イル

イル イル

イル

イル

イル

イル



「おおおお」

「おおおお」





「うまい、おへ♡」

「うまい、おへ♡」

ドッ♡

ドッ♡



「やばい……なんかやばいよツッ……」

「なっ……なんなんだこの子……」

ドッ
ホッ









「完全にアナタと一つ…♡」

「これであたし…♡」



「あはあぁんッ♡」

「きもちいいいんっ♡」





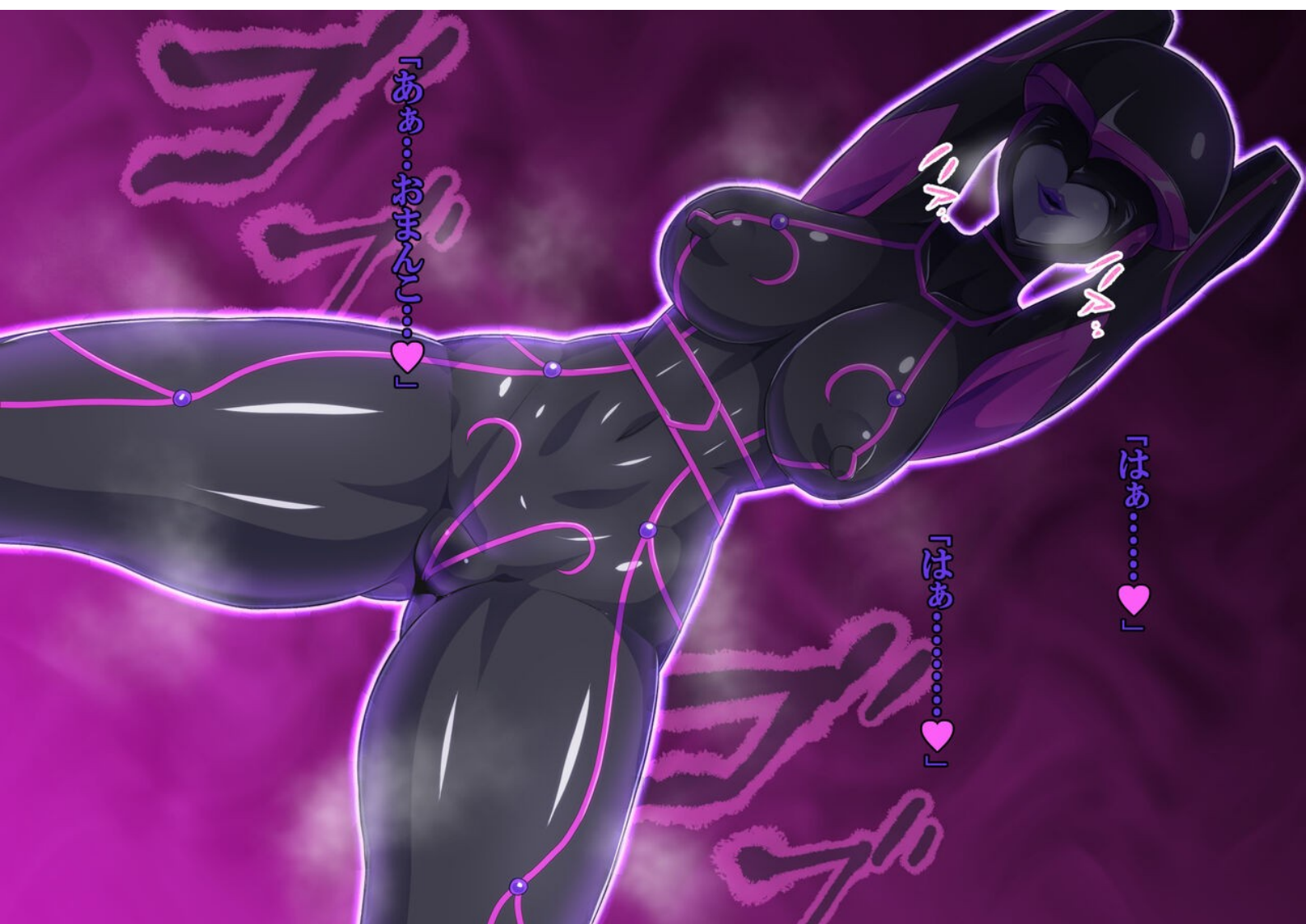
アイエ

アイエ

「あぁんっ♡イクわぁっ♡♡♡」

「アナタの元へえっ♡♡♡」





「はぁ……♡」

「はぁ……♡」

「はぁ……はぁ♡……♡」



「ほやへおまんこしたいのお♡♡♡」



「フッフツ♡」

「最高の気分...♡♡♡」

「全てのオスチンポは
このアタシのものよ...♡♡♡」



「はぁんっ♡」

「あはぁんっ♡」

「みんなあみてるかなぁ♡♡♡」



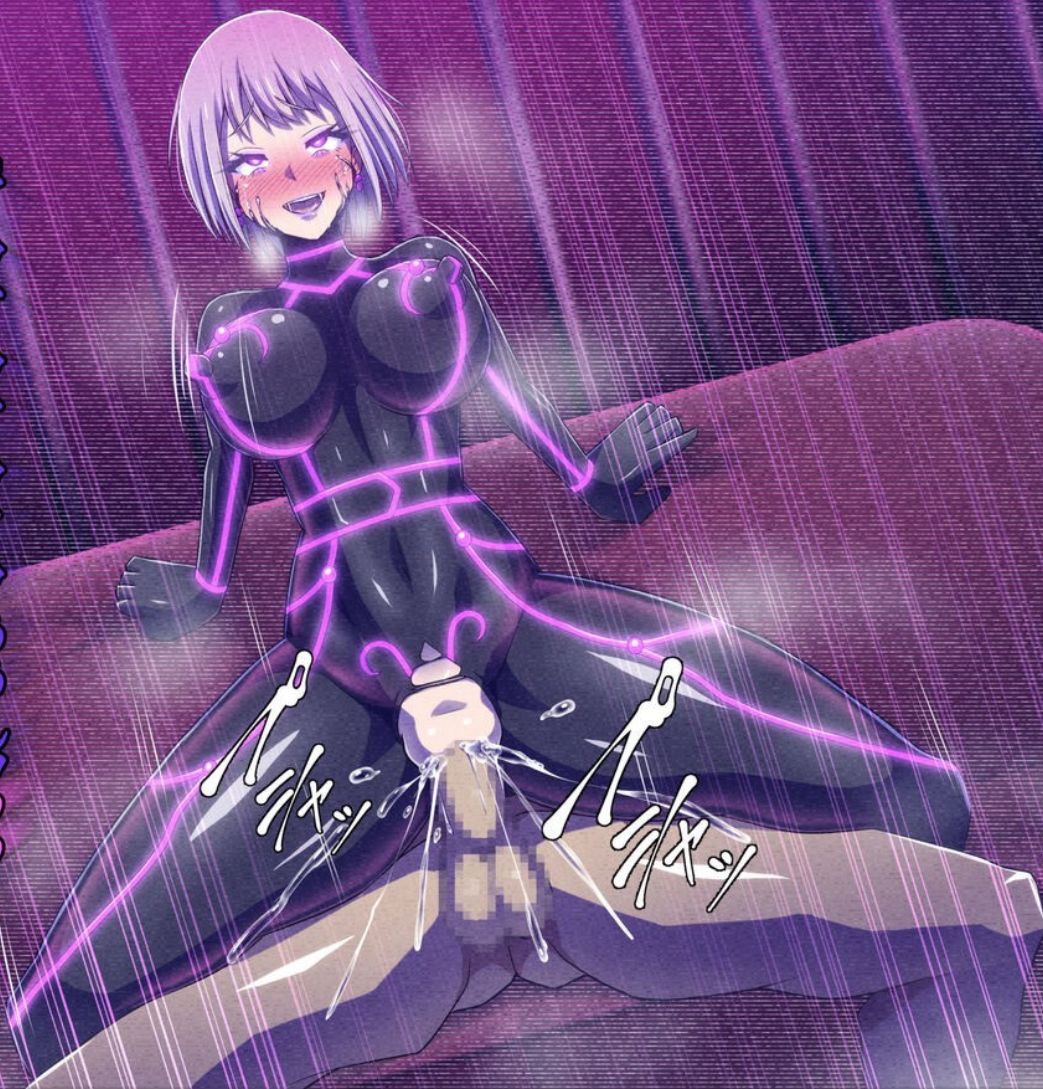
「はぁっ♡はぁっ♡」

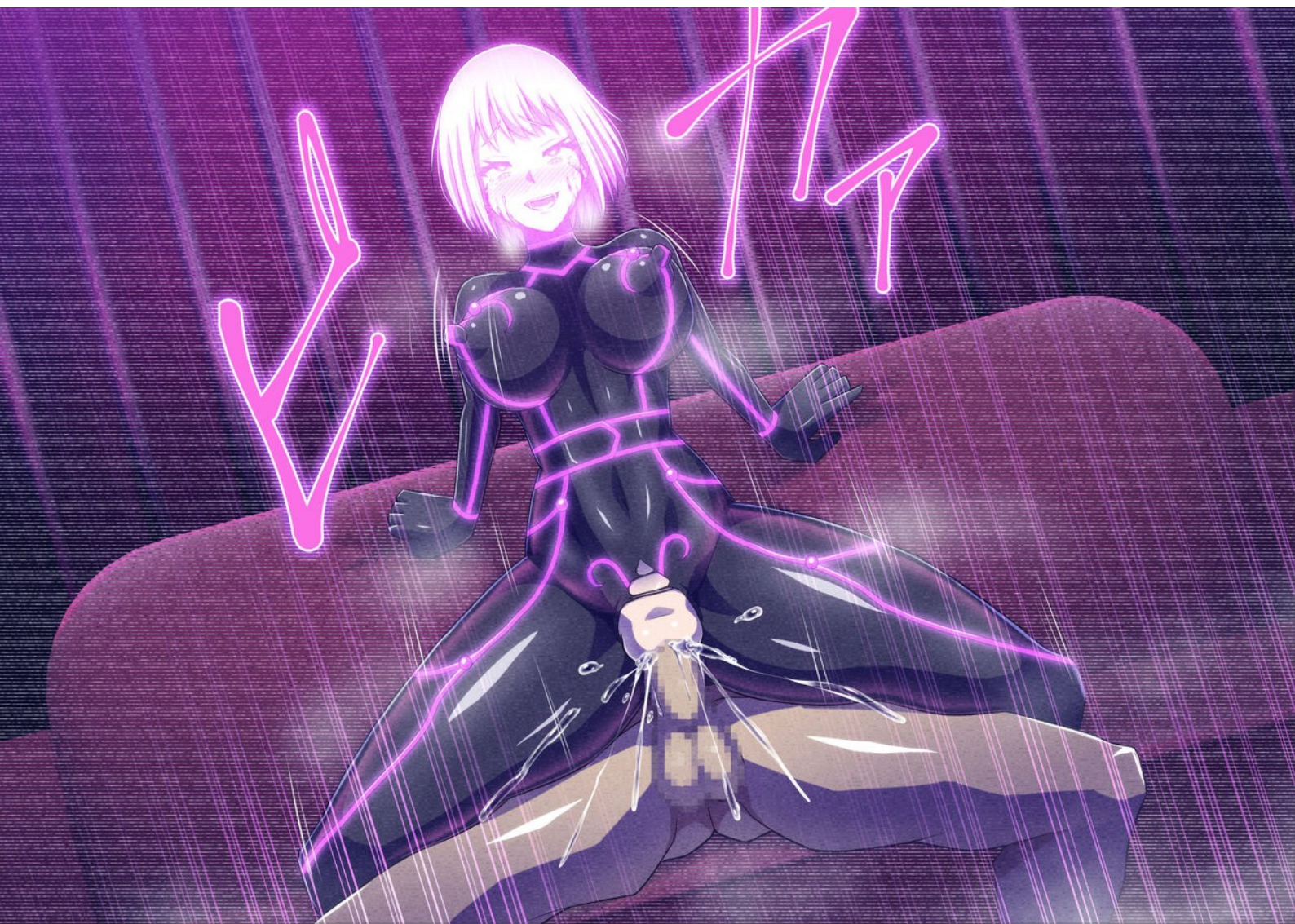
「どうかかなぁ♡」

「ど淫乱なアタシの生ハメ撮りセックスうつ♡」



「イクイクイクイクうんッ♡♡」









「ああ…たまらない…♡」

「オスチンポたまらないわあ…♡」

このアカウントは削除されました。

ザー

10/10/10



—THE END—